

令和2年11月吉日

会員 各位

公益社団法人 日本文化財保護協会
理事長 長谷川 渉
技術研修委員長 河合 英夫

令和2度 第1回 技術研修会開催のご案内

拝啓 晩秋の候、貴社におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、11月に入って東京だけでなく、大阪や北海道などでも感染者数が増えるなど全国的に増加傾向にあり、このまま続けば再び流行につながる可能性が指摘されています。当協会でも同様、感染防止の観点より対面方式での研修会を延期してまいりましたが、このたびオンライン方式（ZOOM）により三密を避けての実施が可能との判断に至り、ここにご案内する運びとなりましたこと、ご報告いたします。

今回の技術研修会は、昨年10月に実施いたしました、福岡での「3D技術と考古学」の第二弾といたしまして、会員所属の埋蔵文化財調査士・調査士補・調査員・測量計測員等の皆様に広くご案内するものです。

講師は、鹿児島国際大学教授の中園 聡 先生に引き続きお願いいたしました。遺跡調査、報告書作成における即戦力として役立つ技術と確信しております。

三次元計測とその成果の応用につきましては、埋蔵文化財の実務、考古学研究、社会での活用など、様々な方面で期待が寄せられています。今回は、三次元計測の意義・可能性、さらには将来予想される展開などを考えるとともに、野外・室内での適用例などを解説していただける予定です。加えて多数の写真から3Dモデルを生成させるSfMという手法を中心に、その実践方法についても解説していただけます。意欲のある方は終了後にご自身でも取り組んでいただければと存じます。初心者の方を念頭に、わかりやすくお話ししていただけますのでご期待いただければと思います。

第一線で活躍されている貴社の技術者の皆様に是非ともご案内をいただき、参加を督励下さいますよう、よろしくお願いいたします。

今回の研修会では、協会主催の継続教育（CPD）制度として10ポイントを配点しておりますので、貴社の資格者に是非ともこの機会に取得するようご指導のほどお願い申し上げます。

なお、システムの都合上、先着80名とさせていただきますので、お早めに協会事務局までお申し込み下さい。

敬 具

記

1. 趣旨・目的

埋蔵文化財調査における技術力の向上を目的とする。

2. 日時

令和2年12月13日(日) 午後2:00～4:00(2時間)

(ログイン受付時間(予定) : 午前11:00～12:00 / 午後13:00～13:45)

3. 講演方法

オンライン方式(ZOOM)により実施

参加費無料

4. 講師・テーマ(座学)

・中園 聡 氏: 鹿児島国際大学国際文化学部教授

・「埋蔵文化財の三次元計測—実践に向けて—」

※講習内容については、当協会『紀要』第4号P48 昨年の講演録をご参照ください。

5. 受講対象者

会員所属の埋蔵文化財調査士・調査士補・調査員・測量計測員等

6. 申込方法

送信先 : info@n-bunkazaihogo.jp

申込締切 : 令和2年12月7日(月)17:00まで 先着80名

記載事項 : ① 氏名 ② 所属先 ③ メールアドレス ④ 連絡先

※1台のPCで複数人が受講をすることも可能です。

※代表者が複数名分の応募をする場合は、①と②は全員、③と④はログインをする方のみを明記してください(先着順・定員制のため、申込後のログインする方の数は増やせません)。

【受講に関する注意事項】

1. お使いになるPCは、カメラ・マイク機能が必要です。予め、内蔵型PCや外付けのカメラ・マイクをご用意ください。
2. 1台のPCで複数人が受講をする場合は、ログイン時(出欠確認)・受講中は出席者全員をカメラで映すことが出席の条件となります。

以上